

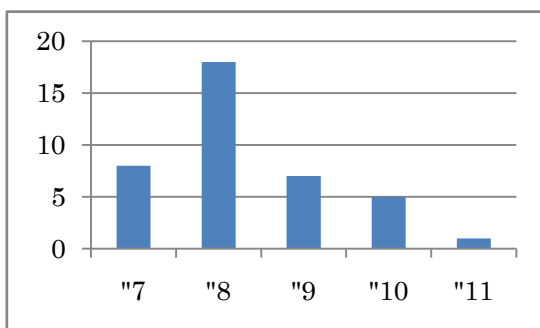
神戸大学石川研究室

2008年度前期 中間授業評価結果報告

「英語オーラル1」(農学部1年:月3)

担当:石川慎一郎

- ・教材: *Top of the Pops Listening* (マクミラン)
- ・授業方法: 会話練習, 発音練習の後, モデル文およびポップス音楽の聞き取りを行う。毎週出される2つのリスニング課題について授業の冒頭でテスト。
- ・アンケート実施日: 2008年5月19日 (6/15回目)
- ・アンケート方法: 無記名。「良い点」「悪い点」「満足度」の3つを用紙に回答。
- ・アンケート回答者数: 39名
- ・満足度平均点: 8.31点
- ・得点分布状況



良い点

発音のクオリティ, ユーモアあふれる授業, 実践的, 服装, 性格, 英語での雑談, 楽しい, リスニング力が伸びた, いっぱい英語で話せる, 先生がほとんど英語で話すこと, 歌, 感情表現, 英語をうまく話せそう, 楽しく授業が受けられる, 発音練習の時間が豊富, 話が面白い, 英語をたくさん聞ける, グループでできる, クラスの雰囲気明るい, 眠くならない, 英語につかれたところに日本語が出てくるのでよい, 笑いがある, 題材が音楽, 先生の雑談, 英語での free talking, 課題英文をダウンロードして練習するので力がつく, 楽しく受講できる, 正しい発音が身に付く, 指導の通りに発音したら確かにきれいな英語になった, 洋楽, 発音がよいのでリスニング力がアップ, 毎回ディクテがあるのでいやでも勉強する, 聞き取りの能力があがる, 実用的, 眠くない, グループでの英語トーク, グループワークなので相談できる, 発音が身に付く, 1日1回は発音トレーニングがあること, リスニングの宿題の英文の内容がいい, 予習がいらぬ, 先生がユニーク, 意外に楽しい, 音を分析して発音練習すること, 英語ではなせる, 話そうと頑張れる雰囲気がある, 授業の時間が早く感じられる, 一人一人に役割があるうので集注出来る, 人とコミュニケーションできる, 英語で話すことに違和感がない, サウンドチェックのコ

ーナーがいい, 歌なので教科書っぽくない, わかりやすい, ネイティブの発音の仕組みが分かる (カタカナわかりやすい), 歌の穴うめ, たまに先生が助けてくれる, 宿題は英語力アップになる, 先生のへんな話が微妙,

悪い点

日本語だとテンションが下がる, 授業中プレッシャーをかんじる, 赤ちゃん言葉, 喜怒哀楽が分からない, ネイティブも授業に読んだりしてほしい, ネクタイの柄, 日本語で話すときのキャラ, 中学の時の英語みたい (いい面でもあるが), 1人ずつ読むのが緊張する, 宿題が難しい (スロー再生のやりかたがわからない), 英語をもっとゆっくり話してほしい, 英語を話すテクニックを教えてほしい, 話題が時々脱線, 曲を最後まで聞きたい, 聞き取りテストが減点方式であること, 課題が速い, 聞き取りの割合が大きいののでコツなどを教えてほしい, 質問攻めが厳しい, 課題の英文の速さ, たまのジョークが生々しい, 発音が難しい, ネット上の音声がノイズで聞きにくい, ディクテの解説をもっと, 教室寒い, 宿題が難しい, 雑談で特定の人からむ, リスニングの答えがグループでまとまらないことがある, プレッシャーが大きい, 授業緊張する, 宿題のダウンロードが面倒, 毎回テストがあるのに定期テストもある, 急に当てられてびびる, ダウンロード, 曲を聞く時間を長く, 課題の難易度, 復習してほしい, 単語力が不足, 1人で発音するのがプレッシャー, 個別で当たるより全員で練習したい, 先生の英語の説明を聞き逃すことがある, 発音テストの練習時間をながく, 1人に質問する時間を短く, いじりすぎ, 変なキャラをつけられた, 発音が下手なのでグループに悪い, いろんな人とアクティビティ, 個人で評価してほしい, 発表後の雰囲気気に気を遣う, 発表の後につかまわれる, 90分長い, 読むのが恥ずかしい, いろいろ質問されるのがちょっといや,

★コメント: 歌を中心にした授業内容にはおおむね支持があったようです。また, 毎回の課題もしんどいながら, その有益性を理解してくださり, 感謝しています。

★後半授業の改善について

1. ダウンロード方法の再説明。PC 不所持者への対応を考えます (メール送信など)。
2. ディクテーションの解説の増加。聞き取りのコツなどを指導します。
3. 英語による指示の改善 (評価など, 全員が理解できるように, 注意して指示を出します)

アンケートへのご協力ありがとうございました。

残り半分, 後半もがんばりましょう!

神戸大学石川研究室

2008 年度前期 中間授業評価結果報告

「英語オーラル3」(農学部2年:水2)

担当:石川慎一郎

・教材: *CBS 60 Minutes*

・授業方法: 会話練習, 発音練習の後, 米国テレビニュースの聞き取りを行う。毎週出される2つのリスニング課題について授業の冒頭でテスト。

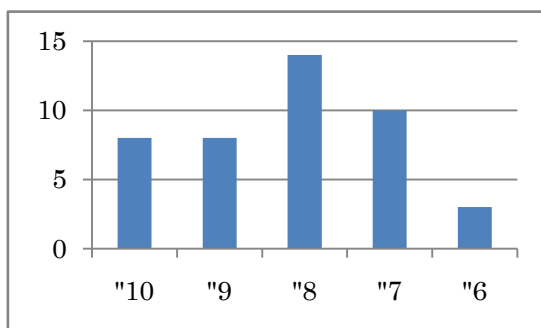
・アンケート実施日: 2008年5月21日(6/15回目)

・アンケート方法: 無記名。「良い点」「悪い点」「満足度」の3つを用紙に回答。

・アンケート回答者数: 43名

・満足度平均点: 8.19点

・得点分布状況



良い点

発音のコツの説明が分かりやすい, テンポがよい, リスニングの宿題で力が付いた, グループワーク, ディスカッション, カナを使った説明, 発音をしっかり学べる, リスニング力, 発音の仕組みの説明が明快, 英語で会話する時間が多い, 先生の英語がききやすい, 一人一人の発音テスト, tdl, 楽しい雰囲気だがしめるところは占める, 理論的で具体的な例もあって身に付きやすい, 英語の雑談, 単純に先生が面白い, 楽しい, 90分が速い, リスニングテストの直後に解説すること, 教科書聞きとりは力が付く, 発音練習時間があること, 退屈せずに90分が終わる, 先生が明るい, 課題は難しいが力が付いているのを感じる, 眠くない, 出席点だけでなくちゃんと実力で評価すること, 発音これまでやっていなかったの新鮮, みんなが参加する授業, グループでのディスカッション, 聞き取りを版で相談すること, 英語が話せる, カナでの説明, ネイティブの発音を学べる, テンポ, 最初にランダムにあてての英会話, 課題テストで英語を聞くこと, 英語で会話する時間が多い, 先生の英語はよく聞こえてわかりやすい, tdl などの発音ポイント, 楽しく授業しながらしめるところはしめる, 理論的で具体例もあり, 発音が身に付きやすい, 英語の雑談, テンポ, 今まであまりやったことのない英語, 英語でやる授業な

ので聞く練習に良い, 周りと話せて楽しい, 退屈せず, 個人練習の時の先生のアドバイス, 毎回のディクテの小テスト, 小テストで勉強できる, 最初の会話が身近で良い, 日本人の発音の悪さがわかって納得した, 毎回自分の点数が分かって良い, リスニング上達の実感がある, 取り組みやすい, 時間がたつのが速い, 目標がわかりやすい(聞き取りやすい発音), 発音練習はテーマがわかりやすい, 発音丁寧, 個人の力とグループワークと両方組み合わせることで評価すること, 発音よくなった, 音声課題,

悪い点

課題のダウンロードにてこずる, TOEIC, mp3 のダウンロード方法を説明してほしい, 1回でも休むと大失点になること, グループ学習なので周りに気を遣う, 英語が速すぎる, 最後のリスニングの後の説明が不足, 教科書のビデオを見ている暇がない, 指名する学生の位置が偏っている, 課題のダウンロードができない(ページが表示されない), 時々しつこい, 文法的な内容にも触れてほしい(縁がないと勉強できないので), グループの人に足を引っ張られる, 一定以上できないと頑張りが反映されない, LL 室の機械の操作に慣れていない, グループワークで穴埋めの意見が揃わないこと, グループなので周りに迷惑をかけられない, 英語が速すぎる, 遅刻がきびしすぎる, 特定の人にあてすぎ, いきなり話を振られて困る, 通路側ばかりあたる, 話を突然ふってくる, ダウンロードできない時がある, 女子の発音に甘い気がする, 毎回のリスニングが厳しすぎる, スピードが速すぎたりわかりにくい時がある, グループワーク時間をもっと, 完全ポイント制なので単位不安, 英会話が辛い, ヒントとか日によって親切だったりそうでなかったりする, たまに英語がわからない, リスニングの課題が難しすぎる. 回答が書いていないのでいくら聞いてもわからない, リスニング時間が長い, PC 持っていないと勉強しにくい, 単語が難しくてどうしようもないときがある, 自分の発音の悪さでグループ全体の点が下がると申し訳ない点悪い時にわかりやすい, 連帯責任, 点数制, 進度速い, テンが取りにくい, 出席しても落ちる?

★コメント: ニュースの聞き取りを中心にした授業内容は支持されているようです。毎回の課題も, 有益性を理解してください, 感謝しています。

★後半授業の改善について

1. PC 不所持者への課題のメール送信の検討。
2. ディクテーション解説の増加。
3. 評価方法の再説明。

アンケートへのご協力ありがとうございました。残り半分, 後半もがんばりましょう!

神戸大学石川研究室

2008 年度前期 中間授業評価結果報告

「英語オーラル3」(経済・経営学部2年:月4)

担当:石川慎一郎

・教材: *CBS 60 Minutes*

・授業方法: 会話練習, 発音練習の後, 米国テレビニュースの聞き取りを行う。毎週出される2つのリスニング課題について授業の冒頭でテスト。

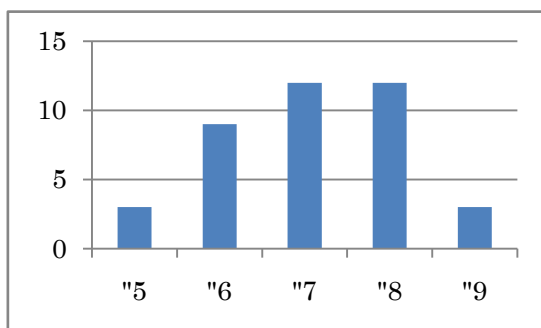
・アンケート実施日: 2008年5月19日(6/15回目)

・アンケート方法: 無記名。「良い点」「悪い点」「満足度」の3つを用紙に回答。

・アンケート回答者数: 26名

・満足度平均点: 7.1点

・得点分布状況



良い点

発音練習が多い, 楽しい, 通用しそうな英語, 先生熱心, 指導が深い, 発音の指導はわかりやすく正確, 身に付いている感じがする, 実践的, 退屈しない, 頑張ってる気を出そうとしている。発音練習は楽しい, 授業の効率はよい, 会話はおもしろい, 発音がわかりやすい, グループ活動はやりやすい, グループディスカッション, 先生の発音は聞き取りやすい, グループ方式, 発音, 成績評価が明確, 自分の発音の確認をしてもらえる, 先生が面白い, 毎週の課題はリスニング力がつく, 授業のテンポが良い, いやでも無理やり英語で答えさせる質問をすること, 初めてまともに英語の発音を習った, 先生の英語がわかりやすい, 発音の説明は役に立っている, リスニングを本気でできる, ヒントを出してくれること, 英英吾の音読, 積極的にできる雰囲気を作られている, ためになる, 結構楽しい, ネイティブのデリバリの指導, 英語の本質のようなことがわかる, 英語を使う機会が多い, 使える発音, 発音練習, キャラ, 発音をちゃんと習える, 時間がたつのが速い, 聞き取りやすい, 評価明確, 友達と英語で離せる。授業が短い感じ, 発音, リスニングは難しいがリスニング力がついたと思う, 時間が速い, 下手ながら英語で話せる, リスニング力向上,

悪い点

教科書が聞き取れない, 平常点がわからなくなった, 実はいままで一度もダウンロードに成功したことがなくパスワードがはずせない, 知らない人とグループを組むとアウェイになる, リスニングが難しすぎる, テストが不安, ディクテのプレッシャーが大きい, 個別発表がプレッシャー, たまに難しすぎる, 授業中に気を抜ける時間がない, 体がしんどい時はつらい, 授業が4時間目にある(笑), リスニングのテープの音が小さい, 今期以外に受けた TOEIC のスコアが使えない, 評価方法がわかりにくい, 面倒が多い, シビア, グループでの回答は正直いや, 当てるタイミングがいきなり, 発音評価がわかりにくい, 内容が難しくスピードが速い, リスニングが苦手だと難しいのでは, 2回の試験が気が重い, 評価がややこしい, 先生のテンションがちょっと高すぎる, あんまりついていけない, 早口で難しい, 日本語でも話してほしい, ついていきにくい, もっと英語を話したい, 評価きつい, 他の教員に比べて内容が重い,

★コメント: ニュースの聞き取りを中心にした授業内容はいちおう支持されているようですが(満足度7.1), 他のクラスに比べると満足度は低めで, 後半授業に向け, 内容と方法の改善に努めたいと思います。

★後半授業の改善について

1. PC 不所持者への課題のメール送信の検討。
2. スピーキング時間の確保。
3. リスニングのテープの音量への配慮(大型ラジカセを借用しました)
4. グループの組み方について希望を伺います。
5. 発音評価の基準の丁寧な説明
6. 全体の評価方法を再説明します。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

残り半分, 後半もがんばりましょう!

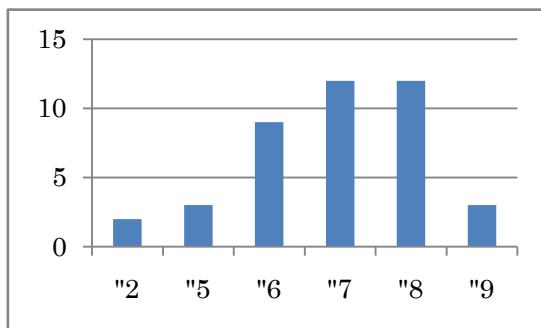
神戸大学石川研究室

2008年度前期 中間授業評価結果報告

「英語オーラル1」(経済学部1年:水1)

担当:石川慎一郎

- ・教材: *Top of the Pops Listening* (マクミラン)
- ・授業方法: 会話練習, 発音練習の後, モデル文およびポップス音楽の聞き取りを行う。毎週出される2つのリスニング課題について授業の冒頭でテスト。
- ・アンケート実施日: 2008年5月21日(6/15回目)
- ・アンケート方法: 無記名。「良い点」「悪い点」「満足度」の3つを用紙に回答。
- ・アンケート回答者数: 41名
- ・満足度平均点: 6.83点
- ・得点分布状況



良い点

英会話に慣れる, 全員参加型, リスニング練習できる, 友達と話す機会が増える, 寝れない雰囲気, 発音が良くなる, わかりやすい, おもしろい, 本気で英語を通じる発音にしようとしていること, 友達と相談しながら進むこと, 緊張感が常にあること, 進捗がちょうど良い, 教科書の内容は興味を持ちやすい, コミュニケーションができる, ディクテのヒント, 発音が正しくなりそう, グループワーク, 洋楽, 今まであまりやっていない発音をきちんと学べること, 毎回違う人とグループを組むのでいろいろな人と知り合える, 授業に笑いがある, 先生が上手に英語を話しきやすい, 周りの人と相談できる, 時間がたつのが速い, リスニングの力が付く, 細かい発音が学べる, リスニングの習慣が身に付いた, 発音知識の習得, 点数制なので程よい緊張感, 眠くならない, おもしろいので興味が出る, 全員参加型, 個人の発音テスト, 英語による授業, 自宅でのディクテ, 鼻濁音を知った, 授業中の雑談, 英語力がつく, 頭を使う, TOEICによるボーナス, 授業は面白い, グループ, 歌を使ったリスニング, 英語の授業, 発音がよくなった, 人と話せる, 歌, 英語の表現力が身に付く, 実用的, 教科書良い, 学武ことが多い, 授業の冒頭の会話, ディクテ, 緊張感がある, 発音練習, 話さないといけない状況なので無理やり話すこと, 全員が参加, 英語を使う機会が増えて友達が増える, リスニング力がつく, 堅苦しくない, 授業がスムーズに進んで無駄な時間がない, 結構英語がうまくなる, 通じる英語を学べる, 緊張感, 度胸がつく,

知らないことを多く学んでいる, 受け身でないこと, 部屋の設備, 部屋が涼しい, イス, モニター

悪い点

遅刻者が入れない, 課題の取り組み方が分からない, カナを使うこと, 1時間目, 遅刻に厳しい, 毎回のリスニング, 先生が教室の鍵を閉めるのが遅い, 発音の採点が厳しい, 緊張感があるのはいいが *You're late. See you next week* は厳しい, 求められるレベルがちょっと高い, ダウンロードしたファイル名が変なままなおらない, ディクテが少し難しい, 英語が速い, 教室が遠い, 教室が5階, K棟が遠い, 字が薄い, ペナルティきつい, 遅刻での入室禁止, リスニング課題が難しい, 遅刻に厳しい, 校舎が遠い, テストが多く精神的につらい, 遅刻したら入れない, ディクテの課題が大変, 毎回の小テストがひやひやする, リスニングの内容が難しい, 個別発音の評価基準が不明瞭, 力が対している実感があまりない, 真面目に受けるだけではいい成績にならないのでは, 朝がきつい, 鍵を閉められて入れないプレッシャーで気が重い, 先生の質問がときどきわからない, 個人発音テストの基準がわからない, 個別の発音, 課題・歌・質問が難しい, 遅刻に厳しい, 毎回のテスト, ディクテが難しい, 遅刻に厳しい, 教室が遠い, 自分の発音の下手さでグループの点が下がるのが悪い, プレッシャーを感じる, ホワイトボードが見えにくい, ディクテのスピード, 遅刻したら出られないのはきつい, 歌を最後まで聞きたい, 英語自体が嫌い, 英語が苦手だときつい, 遅刻を許さないこと, 毎回テスト, テストが2回ある(課題テストだけでいい), ワークショップいや, 緊張してしまう, 英語苦手だとつらい, 左向きには机の形がづらい, ダウンロードするファイルの題名が怖い, 集中するので疲れる, 先生の言っていることがたまにわからない, 友達とつい日本語で話してしまう(生徒の責任かも), 音読採点が厳しい, 1時間目なので授業のテンションについていけない, 音楽は最後まで聞きたい, ディクテが睡かしぎる, 宿題が多い, 難しい, 一番疲れる授業である, 将来英語を使う人にはこのクラスはとても役に立つと思うがそうでない僕にとっては正直しんどい発音で迷惑をかけるのはしのびない, 発音評価の基準と改善点をはっきりと, 大事なところを聞き逃ししやすい, レポート多い, 音楽難しい, 要求レベルが高い, ネットが繋がっていないので課題が落とせない, 全部英語で説明なのがきつい, 当てられても英語では答えられない, 鍵をしめる. おもしろくない, くだい, 朝が早い,

★コメント: 歌の聞き取りを中心にした授業内容はおおむね支持されているようですが, 授業のスコア(6.8)は他クラスより低めになっています。後半授業に向け, 内容と方法の改善に努めたいと思います。とくに, 1. 遅刻への対処方針を改めて説明します。2. 発音評価の基準を丁寧に説明します。

アンケートへのご協力ありがとうございました。後半もがんばりましょう!

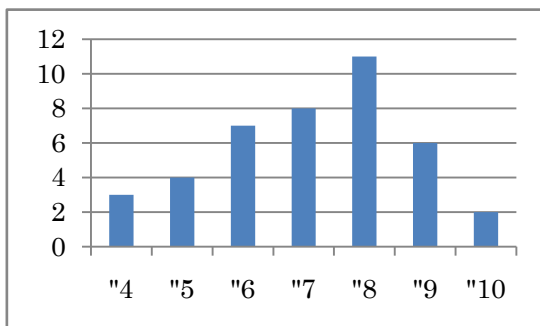
神戸大学石川研究室

2008年度前期 中間授業評価結果報告

「英語オーラル1」(工学部1年:水3)

担当:石川慎一郎

- ・教材: *Top of the Pops Listening* (マクミラン)
- ・授業方法: 会話練習, 発音練習の後, モデル文およびポップス音楽の聞き取りを行う。毎週出される2つのリスニング課題について授業の冒頭でテスト。
- ・アンケート実施日: 2008年5月21日(6/15回目)
- ・アンケート方法: 無記名。「良い点」「悪い点」「満足度」の3つを用紙に回答。
- ・アンケート回答者数: 41名
- ・満足度平均点: 7.12点
- ・得点分布状況



良い点

先生の発音が良い, 自分が発音できること, 明るく楽しい, 音楽, グループ, ちゃんとした発音が身に付く, 眠くない, 実用的, 他の授業よりはたのしくできる, 空気, 発音重視の授業, 先生の英語はわかりやすい, ネイティブ発音の仕組み, 寝る暇がない, グループワーク, みんなで仲良く学ぶ, 発音が良くなる, グループトーク, グループでの意見交換, 解説してから歌に行くという流れ, 退屈しない, 全員参加, 発音が少し良くなった, 授業自体は楽, 発音説明, 部屋がきれい, グループ, 集中できる, 発音のこつがわかってきた, 先生が親しみやすい人でよかった, おもしろい, 明るい, 満足, 小話, 雰囲気, 何をするかはっきりしていること, 雰囲気が明るい, 積極的にできる, 暇にならない, 発音練習, グループ, 歌詞の穴埋め, じぶんの発音の採点, 教材, 課題テストにヒントをくれること, 大阪弁についての雑談, 部屋が涼しい, 発音を厳しく教えてくれる, わかりやすい,

悪い点

男ばかり, つかれる, リスニング難しすぎる, 課題を男性が読んでいるので効きにくい, 時々英語の説明が聞き取れない, 教科書をもうちょっとやってほしい, 発音テストが難しい, テンポ速すぎて疲れる, 周りの反応, リスニングの音, 音楽もう少し聞きたい, 歌詞を聞き取

る時間をもっと, リスニングの音が悪い, 課題の音量が小さい, 演習が多い, 課題の音が悪い, 発音の良し悪しははっきりしすぎ, 英語の歌が家では聞けない, ラジカセが聞こえにくい, 曲を最後まで聞きたい, 時間配分, 教室が遠い, 評価厳しい, つかれる, 厳しい, リスニングしんどい, 英語のトーキング, D 遠い, 英語だけの授業は厳しい, 自分の英語力のなさを実感した, 難しい, グループの構成によって有利・不利がある, 最後のほうが駆け足気味, 予習, 発音評価厳しい, 課題が聞きにくい, 音楽聴くやつがあまりよくない, 授業評価, 歌詞を調べるのが可能, 紙を集めるのが速い, 集中力がある, 発音テストの評価基準が分からない, グループトークにもっと時間がある, 内容が分量多すぎる, 発音テストによる減点, 90分長い, 女子が少ない, レベルが高すぎる, 平常点の減点方式, テストが厳しい,

★コメント: 歌を中心にした授業内容にはおおむね支持があったようです(7.1)。また, 毎回の課題もしんどいながら, その有益性を理解してくださり, 感謝しています。

★後半授業の改善について

1. グループトークの時間をしっかり確保するようにします。
2. 発音テストの減点を廃止し, △と○の2段階にします。
3. 発音テストの際に個別にアドバイスをを行い, できるだけ改善点を示すようにします。
4. グループ分けについてみなさんの意向を聞きます。(班替えの有無など)
5. ラジカセの機種を変更し, 大きな音が出せるものに変更します(全回より対応済み)。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

残り半分, 後半もがんばりましょう!

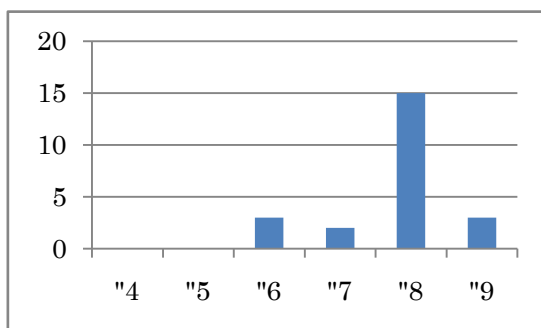
神戸大学石川研究室

2008 年度前期 中間授業評価結果報告

「英語ⅡB」(京大2年:木1)

担当:石川慎一郎

- ・教材: Frontline of Modern Science (自作)
- ・授業方法: 現代科学の論文・エッセイを毎回購読。グループワークで1回に1つのエッセイを読む。英語での質疑応答を経て、出された問題に解答してゆく。
- ・アンケート実施日: 2008年5月22日(6/15回目)
- ・アンケート方法: 無記名。「良い点」「悪い点」「満足度」の3つを用紙に回答。
- ・アンケート回答者数: 25名
- ・満足度平均点: 7.48点
- ・得点分布状況



良い点

英語を話す貴重な機会、グループワークで知り合いが増える、ジャンルが理系で読みやすい、英語をしっかりと学べる、英文の内容が興味深い、真面目、先生と学生のコミュニケーションがある、なるべく英語を使おうとする意識が持てる、英語を聞くことで表現が覚えられる、先生が面白い、教材が読み応えがある、先生の話が主に英語で聞きとる練習に、先生との間である程度英語のコミュニケーションができる、学部を超えて友人ができた、読む内容が興味深くこの授業だけにとどまらない、会話に英語が多い、グループ、TOEIC、先生のテンションが高い、テキストが良い、まあまあ楽しい、グループワークが新鮮、教材のチョイス、高度な英文を読むことで解釈能力が蘇生される、授業中に英語が使われること、グループで助け合えること、海外のユーモア、文章の内容が理系なので難しいがためになる、読解力が十分につく、グループなので雰囲気楽しい、毎週英語を読む習慣がついた、毎週さまざまな話題に触れる、先生が明るい、科学系の文章、いろいろな分野を読める、実際に英語を話せる、評価がはっきり、わからないところを質問しやすい、1回生の時の英語の授業はあまりに楽だったので勉強うしなくなっていたがこの授業で予習の習慣がついた、他の学部の人の考えが知れる、授業中眠くない、

英語で話す、いろいろな分野の文が読める、和訳のセンスが磨かれる、グループ作業、できる限り英語を使うこと、成績評価明瞭、集中できる環境がそろっている、単語が覚えられる、文章の内容はおもしろい、グループ、質問に答えてくれる、テンション、グループ分けて責任感がある、

悪い点

読む量が多いかも、答えを書く時間があまりない、木曜日は雨、できれば最後に訳がほしい、朝が早い、グループワークで連帯責任で個人の点が決まってしまう、学生つ動詞だと日本語になりがち、時間に厳しい(いいこと?)、英文が難しい、休めない、グループが固定される(今のグループがいやなのは多くの人と会話をしたい)、先生が微妙に遅刻気味、英文がむつかしすぎるやつがある、回答が時間内に終わらない、問題の答えを書く時間をもっと、問題が受験問題風な気が、負担が大きい、課題が多すぎる、量より質を、内容が少し専門的、担当しなかった問題があやふや、難しい、文章の字が小さい、グループ以外の人と話す機会がない、率直に・・・授業内容とは関係がないが先生、理系の知識があいみになっていきますね、毎回の量が多い、内容が少し専門的すぎる、予習負担が大きい、問題の答えを書く時間が短い、1人かけると大変、すべて英語でなかなかつらい、1Hなのに出席点がない、分量が多すぎる、自然科学に偏りすぎる(～と法律とか、少し融合したものの方が良いと思う)、朝早い(朝食をとれない)、文章の内容というか語彙が難しい、解説の最後のほうが早い、理系ばかり、出席したからと言って単位がもらえるわけではなさそう

★コメント

7.48で前半の授業内容・スタイルについては一定の支持があったようで、後半も基本的にはこの方向で進めて行きたいと考えています。意見をふまえ、後半の授業について下記の改善を行う予定です。

1. 問題量のセーブ
2. 回答時間の確保
3. 解説時間の確保
4. グループのあり方について意見をうかがいます(班替え?など)

アンケートへのご協力ありがとうございました。後半もがんばっていきましょう!

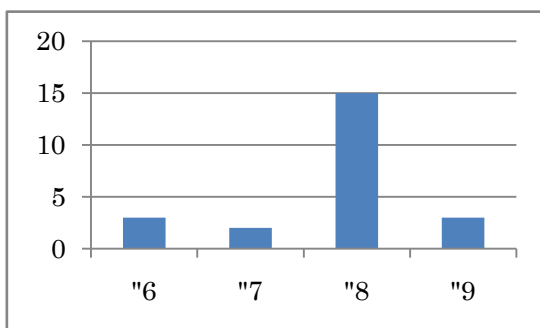
神戸大学石川研究室

2008年度前期 中間授業評価結果報告

「英語ⅡB」(京大2年:木2)

担当:石川慎一郎

- ・教材: Frontline of Modern Science (自作)
- ・授業方法: 現代科学の論文・エッセイを毎回購読。グループワークで1回に1つのエッセイを読む。英語での質疑応答を経て、出された問題に解答してゆく。
- ・アンケート実施日: 2008年5月22日(6/15回目)
- ・アンケート方法: 無記名。「良い点」「悪い点」「満足度」の3つを用紙に回答。
- ・アンケート回答者数: 23名
- ・満足度平均点: 7.78点
- ・得点分布状況



良い点

実際に使える英語, 科学英語, 仮定法への意識がゆく, 難しい問題も解答はわかりやすい, 時々脱線がおもしろい, コミュニケーションをとりいれていること, 内容が理系の学生にはよい, 英文の内容が自然科学, グループ, 英語力が伸びる気がする, 先生がおもしろい, 質問できる, 丁寧に教えてもらえる, 予習が必要なこと, 英語での質問, グループ, 扱う内容, 問題がよく練られていること, やっていることはまじめなのだけれど笑いが混じっていたのしい, 解説が細かい, 授業ですべきことが明確, やる気が出る, 文法的に行間をよむ力が付いた気がする, 豆知識的雑談, グループでの相談, 英文が高度で読んでいて楽しい, レベルアップにちょうど良い文章, グループ, 英語をしっかりと読む, 授業の要所が英語なこと, 英文の内容が興味深い, よい意味で思っていたより日本語の量がある, 笑いがある, 教材, 解説が詳しい, 真剣に取り組める, 文章の内容が充実している, 教材, 興味深い内容, 英語 only の授業なので英語に慣れやすい, 様々な分野の英語でためになる, 解説がわかりやすい,

悪い点

英文にストーリー性がほしい, 手をつけられない問題がた

まにある, 採点が厳しい, △ほしい, 物理分野もほしい, 好きな番号の問題を解きたい, 2時間目にあること(おきれない), 予習が絶対必要, 点数におびえながら授業を受けないといけない, なんとなく難しくかまえてしまう, 時間きつきつ, 解説の時間が少なめ, 問題を解く時間が短い, 文字がちいさい, 一部の設問が難しい, 厳しそう, 理学部なんですけど2回までに語学取らないと・・・(以下省略), 最初の前置きを短くして問題に取り組む時間を長くしてほしい, 問題の解説も英語にしてみてもいいかも, 文章長いかな?, 回答の時間が短い, 実力で点が決まってしまう, 先生が1つのグループにつききりになることがある, なぜかなかなかポイントがつかない, リーディングの問題が多すぎて其れを解くための個人作業が多すぎる, 時間がないのはわかるのですが回答の時間が短い, リスニング力が乏しいので大事なことは3回ぐらい繰り返してください, 解説の前に英文の全体の概要を説明してほしい,

★コメント

7.78で前半の授業内容・スタイルについては一定の支持があったようで, 後半も基本的にはこの方向で進めて行きたいと考えています。意見をふまえ, 後半の授業について下記の改善を行う予定です。

1. 問題量のセーブ
2. 回答時間の確保
3. 解説時間の確保
4. 英語による指示を丁寧に
5. グループのあり方について意見をうかがいます(班替え?など)

アンケートへのご協力ありがとうございました。後半もがんばっていきましょう!

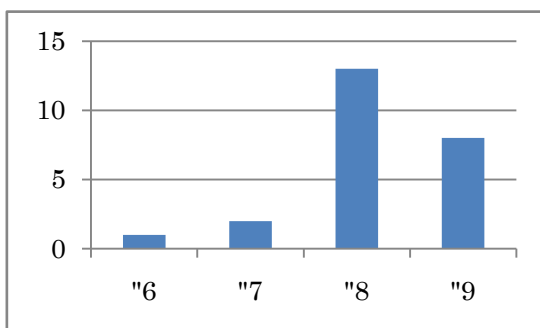
神戸大学石川研究室

2008年度前期 中間授業評価結果報告

「英語アドバンストC」(English Speech) (火3)

担当：石川慎一郎

- ・教材：『英語口頭発表の心得』(丸善)
- ・授業方法：毎回、教科書プレゼン、トピックプレゼンを担当者が行う。プレゼン後には質疑応答と改善点の議論・指導を行う。
- ・アンケート実施日：2008年5月27日(6/15回目)
- ・アンケート方法：無記名。「良い点」「悪い点」「満足度」の3つを用紙に回答。
- ・アンケート回答者数：24名
- ・満足度平均点：8.2点
- ・得点分布状況



良い点

英語で話してプレゼンの機会が持てる、先生やクラスメイトの英語をたくさん聞くこと、やりがいのある課題、授業のテンポがよく飽きない、授業のほとんどが英語、プレゼンの評価、指導が実戦的、先生の引き出しが多い、プレゼン上達のヒントが授業に多い、先生の話が興味深い、1人1人へのアドバイス、即興プレゼンはためになる、先生の模範プレゼンやクラスメートのプレゼンが見られて参考になる、練習の時間が多い、英語で発言の機会が多い、役に立ちそう、個別のアドバイス、ほとんど英語、時間どおりに終わる(次が遠いので)、即興プレゼンは力になる、先生が例をたくさん出してくれるので何を目標せばいいかわかる、リズムに慣れられる、楽しい雰囲気眠たくなならない、英語オーラルの対話などはあまりまじめにやっていないで力が付く感じがしないがこの授業はみなまじめ、友人のプレゼンが見られる、スライドをその場でアレンジしてくれること、プレゼンに必要なことを意識的に学べる、人のプレゼン見て善し悪しわかる、即興は難しいが楽しい、プレゼンの型がわかってきた、90分間プレゼンだらけ、ひとの考えがわかっておもしろい、途中で近くの人と小プレゼン、英語での授業、自分のプレゼンの改善点の指摘、先生がつくる学生プレゼンの修正バージョン、3Hだけど眠くない、

自分が発表しない日も緊張感がある、人のプレゼンを自分に反映できる、即興、先生のプレゼン、刺激がある、先生の英語がききやすい、将来に役立つ、自分の英語力の衰えがわかる、プレゼンへのフィードバックが詳しい、先生による修正版プレゼン、グループでの相互プレゼン、プレゼンは正直面倒だがわくわくもする、人のプレゼンをみて善し悪しを考える時間があること、コメントの機械、英語を話す、良いプレゼンがわかる、アドバイス、

悪い点

積極的に発言できていない、みんなとの力の差がありすぎてついていけないときがある、先生の話すスピードが時々早い、辞書なしの英作課題、キツイというのを前もってシラバスに書いてほしかった、課題の説明がもう少しほしかった、time management、後の人ほどコメントにかかる時間が減ってくる、テーマプレゼンは2~3週目だとネタが尽きて不利では、プレゼン後のコメントの分量が人によって差がある、プレゼンのテーマが難しい、テーマプレゼンの内容が難しい、PPTの使い方を教えてほしい、英語をある程度聞き取れることが前提になっている、クラス内の恥じらいがまだあって思い切ったプレゼンができていきがします。先生からそういう呼びかけがあってもいいかも、今までこういうことをしたことがないのできつい、英語が聞き取れないと大変、K棟の6階なこと、プレゼンを見るだけで終わった場合、課題の説明を事前にしてほしかった、なかなか人のプレゼンを自分のものにしにくい、時間によってコメント量が違う、教室が遠い(直前まであかない)、即興プレゼンもっと、プレゼントピックかたすぎる、自分で話す時間が少ない、3分は短い、K6、テーマ難しい、発音とか英語上達の方法が分からない、発表者以外もやるのがほしい、フィードバックの時間差、フィードバックシートとか、パワポ指導、みんなのプレゼンが定型パターンだけだと退屈なときがある、聞くだけでなく話したい、毎回同じような内容なので飽きがくる、3' 短い

★後半授業の改善について

1. 即興Pの時間をしっかり確保するようにします。
2. 授業後のコメントタイムを確保します
3. グループ分けについてみなさんの意向を聞きます。(班替えの有無など)
4. 課題の説明を行い、第1課題の期限延長します。
5. コメントシートの導入

アンケートへのご協力ありがとうございました。

残り半分、後半もがんばりましょう！

神戸大学石川研究室
2008年度後期 中間授業評価

○英語オーラル2

○工学部1年

○内容：オリジナルプリントを使用し、Module0（課題のディクテ）→Module1（発音ポイントの解説と練習）→Module2（格言の音読練習）→Module3（部分聞き取り）→Module4（ポップス音楽の聞き取り）の内容で進む。授業はできる限り英語で進行する。

○2008年11月11日実施（全15回中の6回目終了時）

○無記名アンケート方式で、授業満足度、授業の良い点・悪い点を質問

○回答者20名（うち得点評価欄の未記入者4名）

○総合満足度 7.4/10点（SD=1.67）

○良い点

退屈しない、リアクション、発音がよくなる、子音の発音練習が丁寧、眠くない、発音の指導が丁寧、英語を聞く機会が増えた、発音、グループでやること、個別の発音チェック、グループワーク、眠くない、発音が良くなる、授業が英語で行われること、グループワーク、発音の練習の機会が多いこと、グループワークは良い、撥音の練習は初めてしたが面白い、毎週英語を聞くようになった、発音に気をつけるようになった、グループの人と話せる、細かい発音を丁寧に学べる、リスニング力がつく、楽しい雰囲気、発音の勉強になる、リスニングができる、発音練習、定期的に英語を聞くようになった、TOEIC対策、発音を一からやり直して学べる、グループの仲が良くなる、できるだけ英語を使って授業を進めること、グループで協力すること、ポイント制が明確、発音が良くなりそう、ある程度リスニング力がつきそう、暖房がしっかりしている、評価の得点方式、歌の聞き取り、グループ、グループでの協力、ノートを取らなくてもいい、歌のリスニング、リスニングテスト、TOEIC対策、発音練習、発音が練習できる、英語にたくさん触られる、実践的、ディクテーション、TOEICに準じていること、発音が詳しい、

○改善点

チャイムと同時に鍵を閉めるのはやりすぎ（複雑な事情のある人もいるかもしれない）、リスニングが難しい、発音の採点基準が高い、発音テストの正誤の基準があいまい、発音させられること、リスニングが難しい、テストが難しい、早起きしないといけない、神経を使う、リス

ニングテストが難しい、教室が遠い、みんなの前での発音が緊張する、練習してもうまく発音できない、自分がグループの点を下げているのではと不安になる、単語力がつかない、発音の評価基準が分からない、グループワークが多すぎる、少しでも遅刻したら入れない、1時間目なこと、遅刻に厳しい、遅刻者の締め出し、学生にあてすぎ、授業が始まる鍵がしまること、6階まであがるのがしんどい、6階まで上がるのに時間がかかる、遅刻したら出られない、モジュールを飛ばすときがある、もともとの能力が成績をかなり左右する、グループはいいが組み合わせによって変わる、朝1時間目での締め出しは厳しい（あと少し締め出しを遅くしてほしい）、教室をもっと早くあけてほしい、ディクテーションの題材はネットにずっと置いておいてほしい（iPODがないので）、単語の強化をしてほしい

○後半授業の改善に向けて（講師より）

貴重なご意見をありがとうございました。全体の満足度は7.4ポイントと一定の評価を得たようですが、多くの貴重な授業改善の示唆もいただきました。まず、毎回のディクテーション課題、発音指導、グループワーク、TOEICトライアルなどについては、おおむね皆さんから肯定的な評価を得ているようで、この点については後半授業でも引き続き丁寧に指導していきたいと思えます。一方、遅刻を禁じていることについては厳しすぎるという意見が多くありました。遅刻については「少し大目に見る」とした場合に線引きがとて難しいという事情をご理解ください。5分超過を許すなら10分超過を許さない理由は成り立たず、結局のところ、大学が定めた正規の時間を全員で守ってゆくほかないのではないかと考えています。この点についてはまた皆さんのお考えもうかがいます。そのほか、発音テストの基準を明確にというコメントもありました。発音の良しあしだけでなく、改善点をその場で全員に積極的にフィードバックして行きたいと思えます。発音を注意されて恥ずかしいなどと思われる必要はまったくありません。みなさんはほとんどこれまで習っていないのですからどんどん間違い、どんどん注意を受けて、その中で自分なりにいい発音のコツをつかんでいただければと思います。では、後半の授業も頑張りましょう！

神戸大学石川研究室
2008 年度後期 中間授業評価

○英語アドバンスト C (English Speech)

○各学部 2 年

○内容：教科書・トピックの 2 種類のプレゼンを実習形式で練習。授業開始時に課題ディクテ。

○2008 年 11 月 11 日実施（全 15 回中の 6 回目終了時）

○無記名アンケート方式で、授業満足度、授業の良い点・悪い点を質問

○回答者 12 名（うち得点評価欄の未記入者 2 名）

○総合満足度 8.2/10 点

○良い点

英語でのプレゼンの方法を学べる、先生がパワフルで意見を求められる。参加型、英語を使うチャンスが豊富、英語を話す機会、レベルが偏っていないので英語に自信がなくても参加しやすい、プレゼンが将来役に立つと思う、プレゼンの体験ができる、英語で意見を述べたり会話をする時間がある、授業で英語を話す機会がある（訳）。プレゼンを詳しく学べる（訳）、英語の文を作る良い機会、おもしろい、英語でプレゼンするコツが学べる、英語で話そうと頑張る気になる、リスニング力の向上、興味深い授業、身が引き締まる、英語を頑張る気になる、できる人から刺激をもらえる、すべて英語、みんなが英語で話す、先生がおもしろい、個々のプレゼンに十分評価が来る、少人数、人前に出るチャンス、決まり文句の指導、ビデオの学習、経験をつめる、必ず英語で話せる、人前できちんと話す、リスニングアップ

○改善点

教科書プレゼンを複数の人が同じ内容なので飽きる、2 回に 1 回はプレゼンが当たって大変、難しい、英語の授業というよりプレゼンの授業なので最初はとまどった、英作の添削がほしい、面倒くさい、時間がない、リスニングがたまに難しい、友だちが 1 回目の授業で去っていったのがさびしい、席がばらばら、

緊張を強いられる、プレゼンが当たると週末がなくなる、2・10 までである、レベルが違って気後れする、即興すぎて話せない、課題が多い、プレゼンを何度もやらないといけない、会話相手が変わらない、マイクがあればよいのでは、ビデオの続きを見たい、レベルの低いものにはしんどい、移動が大変、

○後半授業の改善に向けて（講師より）

全体として良い評価をいただきました。毎回のディクテーション、プレゼンテーションについてはしんどさはあるものの、手ごたえを感じておられる方が多いようです。改善点に目をめけると、プレゼンの回数が多いこと、座席がばらばらなことなどへの指摘が木になりました。残った回数については、指摘の点を改善していきたいと思います。残りの授業もがんばりましょう！